

東京都福祉保健局
感染症対策部事業推進課
感染症医療整備担当

2023.5.12/5.16

新型コロナウイルス感染症5類移行にあたって

感染対策オンライン研修

東京医科大学病院 感染制御部・感染症科

観光庁感染症対策アドバイザー

東京都福祉保健局アドバイザー

中村 造

M.D., Ph.D., MTID, MBA

SARS-Cov-2流行株の変化

- 武漢株
- アルファ株
- デルタ株

- オミクロン株

BA1 → BA2 → BA5

社会の受け止め方も、求められる感染対策も変化

5類感染症における医療提供体制

- 幅広い医療機関による自律的な通常の対応
- 新たな医療機関に参画を促す

→ コロナ診療の一般化

with コロナの意味

- これまで：封じ込め・拡大防止が主目標
伝播が「**起こらない**」対策が強調された
with コロナと言いながらゼロコロナに近い対策が主体
- これから：
伝播が「**ある程度起こらない／起こることを許容する**」対策
へのシフト

感染対策理論のジレンマ

- 理論／実験データと現実／リアルワールドに差があること
 - 生きたウイルスの存在をCT値で判断すること
 - 罹患者はマスクを着用していること
 - 過剰な対策ほど正論、強者の理論になりやすいこと
- コロナ診療の一般化には、完璧な対策ではなく、過剰でない対策が必要

今後の感染対策に必要な点

- 罹患によるリスクが高い患者への対策に注力
- **実現可能**であること
医療資源、人材、動線、経営、他の医療とのバランス
- 全ての医療者や医療機関にも適応出来ること
→その実現には感染対策の最適化が必須

不要な感染対策の例

- 過剰な環境清掃
- 過剰な動線隔離
 - すれ違うだけでは感染しない
 - 会話をしなければ待合に居合わせただけで感染しない
 - マスクなしでも直ぐには隣の人に感染しない
- 過剰な陰圧隔離
 - 重症例以外はエアロゾル発生場面が起きにくい
- 過剰なパーテーション
 - 空気の流れを阻害し、狭い空間では逆効果なことも

必要な感染対策

- No.1 **マスク(患者自身のマスクと医療者の对患者マスク)**
- No.2 手指衛生
- No.3 換気
- No.4 環境整備
- No.5 飛沫予防策 > 接触予防策 > 空気予防策
- No.6 距離(マスクで距離は縮められる)

今後、感染対策緩和で危惧されること

①高リスク者／患者への感染

職員は毎日医療施設と非医療施設を行き来
医療施設をバブル化することは不可能

②発症や濃厚接触による職場離脱

発症職員の隔離：5日間／7日間／10日間

濃厚接触職員の隔離：感染症法上は規定なし

これらのある程度許容していく必要もある

参考2 諸外国の状況（新型コロナウイルス感染症の療養期間）

国名	施策内容
米 国	<ul style="list-style-type: none"> 無症状者： 5日間の隔離を推奨 有症状者： 5日間が経過し、解熱剤の服用なく24時間の解熱を得られるまで隔離を推奨（症状改善傾向にない場合は隔離を継続） 10日間は屋内のマスク着用等を推奨。 <p>（出典）CDCホームページ（https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/your-health/isolation.html）</p>
英 国	<ul style="list-style-type: none"> 18歳未満は3日間、18歳以上は5日間の隔離を推奨 10日間はハイリスク者との接触を避けることを推奨 <p>（出典）NHSホームページ（https://www.nhs.uk/conditions/covid-19/covid-19-symptoms-and-what-to-do/）</p>
台 湾	<ul style="list-style-type: none"> 待機期間は設けられていないが、抗原検査で陰性になるまで、または発症（無症状の場合は検査）から10日間を自主健康観察期間として、症状がある場合は不要不急の外出を避け、自宅待機を推奨 <p>（出典）台湾CDCホームページ（https://www.cdc.gov.tw/En/Category/ListContent/tov1jahKUv8RGsbvmzLwFg?uaid=WSZT7bbeEkFGIR2km4-wAQ）</p>
シンガポール	<ul style="list-style-type: none"> 待機期間は設けられていないが、軽症者には症状がある間の自宅待機を推奨 <p>（出典）保健省ホームページ（https://www.moh.gov.sg/covid-19）</p>
フランス	<ul style="list-style-type: none"> 待機期間は設けられていないが、感染予防としてマスク着用やテレワーク等を推奨 <p>（出典）政府ホームページ（https://www.service-public.fr/particuliers/actualites/A15610?lang=en）</p>
韓 国	<ul style="list-style-type: none"> 隔離義務あり（違反した場合には罰則の対象） 隔離期間を7日間から5日間に短縮する予定（※） <p>※さらに、今後、感染症分類の引き下げも予定しており、その際、5日の期間は維持しつつ、従来の「隔離義務」から「勧告」に変更する予定</p> <p>（出典）政府ホームページ（https://ncov.kdca.go.kr/tcmBoardView.do?gubun=BDJ&brdId=3&brdGubun=31&dataGubun=&ncvContSeq=7221&board_id=312&contSeq=7221#）</p>
ニュージーランド	<ul style="list-style-type: none"> 7日間の隔離義務あり <p>（出典）政府ホームページ（https://covid19.govt.nz/testing-and-isolation/if-you-have-covid-19/）</p>

（令和5年4月13日時点 厚生労働省調べ）

